

第2回審議会要旨録

令和7年度第2回特別職報酬等審議会議事要旨録

開催日時 令和7年8月20日（水） 13：30～
開催場所 小林市役所 2階 第1会議室
出席委員 9人
欠席委員 1人
事務局・説明者 総務部長、総務課長、財政課長、議会事務局長、議会事務局主幹、総務課主幹、総務課主査

○ 開会

○ 会議の成立確認

委員9人出席により成立

○ 審議

- ・ 第1回審議会審議内容確認
- ・ 配布資料説明
議会事務局長、総務課長説明
- ・ 主な質問・意見
◎給料・報酬の方向性について 全委員引上げで一致

意見 2025年度は最低賃金（時給）が現在の952円から64円引上げの1,016円となる見込みである。これは約7%増にあたる。この状況を鑑みると市長についても6%程度の引上げが妥当ではないか。また、若年層を中心に賃上げが進んでおり、議員は若年者もいることから市長を上回る引上げとしてもよいと考える。

意見 議員については、専業でないため活動が見えにくいのではないか。専念するためには引き上げが必要と思われる。

意見 引上げに賛成する。様々な事情はあったかと思うが、民間の場合、約20年も据え置きという状態は不思議である。

意見 引上げに同意する。ただし、議員活動の見える化を図ってほしい。

第2回審議会要旨録

意見 引上げが妥当と考える。ただし、市長及び議員と副市長及び教育長の引上げ幅には差があつてよいと思う。

意見 前回の説明で財政の健全性は保たれていることが確認できた。引上げて差し支えないと考える。

意見 引上げが妥当と考える。議員について言えば、手取りを考えると他の収入がある者でなければ活動ができない。なり手が限定されてしまう。

意見 物価の状況や賃上げの状況を考慮すると引上げが妥当と考える。

質問 今後は毎年度、報酬及び給料について審議するのか。任期ごとに審議することとなるのか。

回答 社会状況等必要に応じて審議会を開催することとなる。

◎その他

質問 今回の審議会はどのような経過で開催することとなったのか。

回答 市議会議長からの開催依頼を受けたもの及び社会情勢の変化に関わらず長期にわたって見直しがなされていなかったことから、市長から諮問することとなった。なお、過年度においては諮問の機運もあったが、コロナ禍のため断念した。

質問 近隣自治体で議員報酬の見直しが可決されているが、金額の根拠を把握しているか。

回答 自治会から議員定数削減の請願に市課長級と同程度とする報酬引上額の求めもあったようである。

意見 区長についても活動量が多いため、見直しを図ってほしい。

意見 区長は宛職も多いが、報酬のあるものとそうでないものがあり割振りが困難となっている。一律報酬支給としてほしい。

意見 任期ごとなど定期的に審議会を開催するべきではないか。

第2回審議会要旨録

意見 市長の職責を考慮すると、現在の給料額は低額と感じる。

意見 小林市では市長給料と議長報酬の比率は200%超だが、190%台の自治体もあるようだ。バランスの取れた報酬・給料とすべきではないか。

○その他

次回日程 令和7年10月22日（水） 13:30～

開催場所 小林市役所 2階 第1会議室

○閉会

(15:04 審議会終了)